

答え合わせ・解説

問1	答え 1 福岡県	福岡県は九州地方の経済や交通の拠点であり、県庁所在地の福岡市は政令指定都市に指定されています。福岡空港は都市部へのアクセスが極めて良く、国内有数の航空路線の旅客数を誇ります。また、北九州工業地帯を擁しており、官営八幡製鉄所の操業以来、現在も鉄鋼業が盛んな地域として知られています。
問2	答え 1 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。
問3	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問4	答え 1 カルデラ	阿蘇山は世界最大級の陥没地形を持つことで知られています。大規模な噴火が起こると、地下にあったマグマが地上に大量に放出され、地下に巨大な空洞ができます。その空洞を支えきれなくなった地表が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで、特徴的な鍋型の地形が作られました。
問5	答え 1 広大な干拓地やクリークが整備され、九州地方を代表する稲作地帯となっている。	筑紫平野は有明海沿岸の干拓によって農地を拡大してきた歴史があり、農業用水を確保するためのクリークが網の目のように張り巡らされているのが特徴です。一方、野菜の促成栽培は宮崎平野、シラス台地は九州南部（鹿児島県や宮崎県）の特色であるため、これらと区別する必要があります。
問6	答え 1 対馬藩	江戸幕府は「鎖国」体制下でも特定の四つの窓口（四つの口）を通じた交流を認めていました。対馬藩（宗氏）はその一つとして、朝鮮との外交実務や貿易を独占しました。ちなみに、薩摩藩は琉球、松前藩はアイヌの人々との交流をそれぞれ担当していました。
問7	答え 3 さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問8	答え 1 沿岸部に新産業都市に指定された鉄鋼業や石油化学工業などの重化学工業が集まっているため	大分県では、1960年代に「新産業都市」の指定を受けたことをきっかけに、別府湾沿岸の大分臨海工業地域において製鉄所や石油化学コンビナートなどのエネルギー消費の激しい重化学工業が発達しました。これらの産業に必要な電力を安定的に供給するため、大規模な火力発電所が稼働しており、県全体の発電量において火力発電が大きな割合を占める要因となっています。
問9	答え 1 壱岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。	面積が小さいにもかかわらず海岸線が長いということは、幾何学的に「形が複雑である（凸凹が多い）」、あるいは「孤立した陸地（島）が多数存在する」ことを意味します。長崎県はこの両方の条件を満たしており、特に島嶼（とうしょ）部の多さは海岸線距離を押し上げる最大の要因となっています。一方で、平地は少なく、海岸付近まで山地が迫る複雑な地形が形成されています。

中学地理プリント（過去問類似）

九州地方

名前

得点

/10

問1 鹿児島県に広く分布する「シラス台地」の土壌の性質として、現地の農業に最も大きな影響を与えている特徴はどれですか。

(2024年 山形公立入試 類似)

- 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい
- 川が運んだ土砂でできており、水を通しにくい
- 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している
- サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い

問2 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒しして出荷する栽培方法を何とといいますか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

- 促成栽培
- 抑制栽培
- 近郊農業
- 二毛作

問3 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。

(2019年 三重公立入試 類似)

- シラス台地
- カルデラ
- 甲府盆地
- 筑紫平野

問4 福岡県と佐賀県にまたがる筑紫平野では、かつて農業用水の確保や排水を目的として、網の目のように巡らされた人工の水路が活用されていました。この水路の名称として正しいものを選びなさい。

(2022年 宮城県公立入試 類似)

- クリーク
- カルデラ
- 輪中
- 扇状地

問5 九州地方南部の鹿児島県の大隅半島や薩摩半島、宮崎県の一部にかけて、火山の噴出物である火山灰などが厚く降り積もって形成された広大な台地を何と呼びますか。

(2017年 大分県公立入試 類似)

- シラス台地
- カルスト台地
- 扇状地
- 干拓地

問6 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2024年 栃木公立入試 類似)

- 日本国内の消費地が近いと、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから
- 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから
- 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから
- 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから

問7 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。

(2016年 山形県公立入試 類似)

- 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。
- 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。
- 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。
- 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。

問8 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。

(2020年 埼玉県公立入試 類似)

- 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため
- 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため
- 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため
- 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため

問9 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられていますが、これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。

(2017年 京都公立入試 類似)

- まだい
- ほたてがい
- さけ
- かつお

問10 1970年代の大分県において、県内での雇用を増加させ、大都市圏への人口流出を抑える要因となった政府による都市開発の指定制度を何とといいますか。

(2020年 大分県公立入試 類似)

- 新産業都市
- 学術研究都市
- 高度経済成長拠点
- 情報公開特区

答え合わせ・解説

問1	答え 1 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい	シラス台地は過去の火山活動による火砕流などの噴出物が積み重なって形成されました。この土壌は粒子が粗く「水を通しやすい（水はけが良い）」という特性を持っています。そのため、常に水を張る必要がある水田稲作には向かず、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして畜産を中心とした農業が発展してきました。
問2	答え 1 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問3	答え 1 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問4	答え 1 クリーク	筑紫平野は標高が低く、干拓によって土地を広げてきた歴史があるため、水の管理が極めて重要でした。そのため「クリーク」と呼ばれる水路を張り巡らせることで、稲作に必要な水の貯蔵や、大雨の際の排水を行ってきました。現在は土地改良事業により整理が進んでいます。
問5	答え 1 シラス台地	九州地方南部は過去の巨大な火山活動の影響を強く受けており、噴出した火山灰や軽石などが広範囲にわたって堆積しました。このようにして形成された地形はシラス台地と呼ばれ、この地域特有の景観や農業のあり方を規定する大きな要因となっています。
問6	答え 2 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問7	答え 1 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それら加工して付加価値を高める産業が発達しているため。	鹿児島県は、シラス台地の特性を活かした肉用牛、豚、鶏などの畜産業が日本屈指の規模を誇ります。これらの地元の農産物を原料として、精肉加工や缶詰、焼酎、菓子などの「食料品」へと加工する工業が地域に根付いているため、農業と工業が密接に関係しながら産業構造を形作っています。
問8	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問9	答え 1 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせることで、高い生産額を維持しています。
問10	答え 1 新産業都市	政府は地方への工業分散を図り、過密・過疎問題を解決するために「新産業都市建設促進法」を制定しました。大分県（大分地区）はこの「新産業都市」の指定を受けたことで工業化が進み、県内での雇用機会が創出されました。この結果、高度経済成長の終わりとともに大都市への人口流出が減少し、地方における人口還流が促進されました。

問1 近年、持続可能な発展を目的として注目されている「エコツーリズム」の基本的な考え方や取り組みとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 和歌山公立入試 類似）

- 地域の生態系や自然環境を保全し、その価値を損なわない範囲で体験や学習の場を提供することで、環境保護と観光を両立させる。
- 農村や山村に滞在して農業体験や地元の人々との交流を楽しむことで、過疎化が進む地域の活性化を目指す。
- 交通網の整備や大規模な宿泊施設の建設を優先し、短期間にできるだけ多くの観光客を呼び込んで経済効果を高める。
- 自然環境を完全に手つかずの状態に残すために、観光客の立ち入りを厳格に制限し、学術調査以外の目的での利用を禁止する。

問2 九州地方北西部の長崎県などに典型的に見られる、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んで連なる海岸地形を何というか、名称を答えなさい。（2023年 佐賀公立入試 類似）

- リアス海岸
- 干拓地
- 砂州
- カルデラ

問3 九州地方の筑紫平野に関する説明として、温暖な気候や土地の高度な利用方法の観点から、最も適切な説明はどれですか。

（2026年 和歌山公立入試 類似）

- 稲作の収穫が終わった後の水田を裏作として活用し、小麦などを栽培する二毛作が盛んである。
- 1年のうちに同じ水田で2回米を収穫する二期作を行い、食料自給率の向上に貢献している。
- ビニールハウスを利用して夏野菜の成長を早める促成栽培を行い、冬の出荷額を高めている。
- 連作障害を防ぐために、数年ごとに栽培する作物を入れ替える輪作を大規模に導入している。

問4 沖縄県の県庁所在地である那覇を中心とした距離と方位を示す資料では、那覇から2000キロメートル圏内に、中国、ロシア、北朝鮮、そして東南アジア諸国が含まれることが示されます。このような地理的条件が、日本の安全保障や国際政治に大きな影響を与える状況を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

- 地政学
- 排他的経済水域
- 地方交付税交付金
- 非核三原則

問5 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

- 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため
- 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
- 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
- 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保する必要があるため

問6 九州地方の周辺を流れる海流が、地域の生活や気候に与える影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2023年

佐賀公立入試 類似）

- 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。
- 北からのリマン海流が九州の日本海側に冷たい水を運ぶため、冬の九州北部は北海道と同じくらい寒冷になる。
- 太平洋側を流れる親潮の影響で霧が発生しやすくなり、夏でも気温があまり上がらない冷涼な気候となる。
- 日本海を南下する対馬海流が、九州地方に乾燥した冷たい空気を運んでくるため、冬は降水量が非常に少なくなる。

問7 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- 屋久島
- 種子島
- 奄美大島
- 壱岐島

問8 鹿児島県の養豚業における統計的な特徴について説明します。1964年には約5万戸あった飼育戸数が、2014年には約1千戸まで激減している一方で、県全体の総飼育頭数は約100万頭から140万頭の間で維持、あるいは微増しています。このデータから読み取れる、現在の鹿児島県の養豚業の状況として正しいものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）

- 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。
- 養豚農家の減少に伴い、県全体の豚肉生産能力が著しく衰退している状況。
- 小規模な農家が多数残っており、伝統的な飼育方法が守られている状況。
- 飼育戸数と総飼育頭数の両方が減少したことで、豚肉の希少価値が向上している状況

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地域の生態系や自然環境を保全し、その価値を損なわない範囲で体験や学習の場を提供することで、環境保護と観光を両立させる。	エコツーリズムは、自然をただの消費財とするのではなく、保護すべき対象として扱いながら、その価値を正しく理解してもらうことで地域を維持していく取り組みです。農村体験を主とするグリーンツーリズムや、大量の観光客を受け入れるマストツーリズムとは、その目的や手法が異なります。
問2	答え 1 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで形成される、のこぎりの歯のような複雑な海岸線を指します。長崎県の北松浦半島周辺や長崎半島周辺で顕著に見られ、水深が深く波が静かなため、養殖業や天然の良港として利用されることが多いのが特徴です。選択肢にある「干拓地」は有明海などの遠浅の海を陸地化したものを指し、「砂州」は波の作用で砂が堆積した地形を指します。
問3	答え 1 稲作の収穫が終わった後の水田を裏作として活用し、小麦などを栽培する二毛作が盛んである。	筑紫平野は九州最大級の平野であり、温暖な気候と豊富な水資源を背景に農業が非常に盛んです。特に、米の収穫後の水田で小麦や大麦を育てる「二毛作」は、土地を1年を通じて有効活用する代表的な手法です。二期作は主に米を2回作することを指し、促成栽培は宮崎平野などのビニールハウス農業でよく見られる形態であるため、筑紫平野の土地利用の説明としては、裏作での小麦栽培（二毛作）を挙げるのが適切です。
問4	答え 1 地政学	地理的な位置関係が、その国家の政治、経済、軍事的な戦略にどのような影響を与えるかを分析することを地政学と呼びます。沖縄は、東アジアの主要な国々に近接しているという地理的特性から、日本の安全保障上の要衝（重要な地点）として位置づけられています。
問5	答え 1 地表面を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるといった特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問6	答え 1 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。	九州地方は、太平洋側に黒潮（日本海流）、日本海側に対馬海流という2つの暖流が流れています。暖流は周囲の空気を暖める性質があるため、これらの海流の影響を受ける九州地方の沿岸部では、冬でも氷点下になる日が少なく、温暖な気候が保たれます。選択肢にあるリマン海流や親潮は寒流であり、これらは主に北日本などの気候に影響を与えるものです。
問7	答え 2 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問8	答え 1 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。	飼育戸数が50分の1程度に減少しているにもかかわらず、飼育されている豚の総数が減っていないということは、1つの農家が非常に多くの豚を飼育するようになったことを示しています。これは、資本を集中させて機械化や効率的な設備導入を行い、競争力を高める「経営の大規模化」が進展した結果です。

問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。
2. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。
3. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。
4. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。

問2 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。
2. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
3. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
4. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。

問3 日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 静岡県
3. 三重県
4. 千葉県

問4 九州地方の製造業出荷額において、1980年には鉄鋼や化学が上位を占めていましたが、2000年には電気機械が首位となり、輸送用機械も上位に食い込むようになりました。このように、高度な技術を用いて部品を組み立てることで製品を生産する産業を何と呼びますか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 加工組立型産業
2. 基礎素材型産業
3. 生活関連型産業
4. 知識集約型公共産業

問5 九州地方において、集積回路（IC）などの電子部品を製造する工場が、従来の重化学工業のような沿岸部ではなく、内陸部の空港や高速道路の周辺に多く立地している主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。
2. 原材料に大量の鉄鉱石や石炭を使用するため、海外からの輸入に便利な内陸部のインターチェンジ周辺が選ばれたから。
3. 大規模な製造装置を動かすための電力を確保するために、火力発電所や原子力発電所が集中する空港付近の立地が必要だから。
4. 工場の排水による海洋汚染を防ぐため、法律によってすべての先端技術産業は海から離れた場所に建設するよう義務付けられているから。

問6 鹿児島県に広く見られる、標高30m程度の平坦な面を持つ火山噴出物の台地では、その土壌の性質から、古くから土地利用に工夫がなされてきました。この地域の自然環境と農業の関係について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 水はけが非常に良く水田に適さないため、サツマイモなどの畑作や畜産が発展した。
2. 土壌の保水力が極めて高いため、大規模な稲作地帯として開発が進んだ。
3. 堆積物が栄養分を豊富に含んでいたため、特別な肥料なしで稲の二期作が行われた。
4. 土壌が常に湿潤であるため、低湿地での栽培に適したレンコンの生産が盛んになった。

問7 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため
2. 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため
3. 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため
4. 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため

問8 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 沖縄公立入試 類似）

1. パイナップル
2. マンゴー
3. スイカ
4. 紅芋

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問2	答え 1 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。
問3	答え 1 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問4	答え 1 加工組立型産業	電気機械や自動車（輸送用機械）のように、多くの部品を組み合わせで最終製品を作る産業を加工組立型産業と呼びます。九州では、高速道路網の整備や豊富な水資源、労働力を背景にこれらの工場が増加しました。一方、原材料を加工して他の産業の土台となる素材を作る鉄鋼や化学などの産業は基礎素材型産業と呼ばれ、以前に比べて出荷額に占める割合は低下しています。
問5	答え 1 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。	集積回路（IC）は、鉄鋼や石油化学などの製品と比べて非常に小型で軽く、製品あたりの価格が高い「高付加価値製品」です。そのため、船舶による大量輸送よりも、高速道路を利用した自動車輸送や、空港を利用した航空輸送によって、市場の需要に合わせて迅速に出荷することが重視されます。このように交通の利便性を求めて内陸部に工場が並ぶ様子から、九州はアメリカの事例になぞらえて「シリコンアイランド」と呼ばれます。
問6	答え 1 水はけが非常に良く水田に適さないため、サツマイモなどの畑作や畜産が発展した。	シラス台地は火山灰などが厚く積もってできており、水分が地下に浸透しやすいため、水を溜めておく必要がある水田稲作には適していません。そのため、江戸時代に伝来したサツマイモのように、水はけが良く乾燥した土地でも育つ作物の栽培が広がりました。近年ではスプリンクラーなどの灌漑施設の整備により、野菜栽培や畜産も盛んになっています。
問7	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問8	答え 1 パイナップル	東村や石垣市は、沖縄県特有の酸性の赤土（国頭マーヅ）が広がる地域であり、この土壌に適したパイナップルの栽培が大規模に行われています。特に本島北部の東村は「パインの村」として知られ、県内最大の栽培面積を誇ります。選択枝にあるマンゴーやスイカも沖縄で栽培されていますが、東村や石垣市が突出した割合を示すのはパイナップルの特徴です。

問1 熊本県の阿蘇山周辺や、桜島を囲む鹿児島湾の地形的な特徴として、大規模な火山の噴火が起こった際、地下のマグマが噴き出したことで地表が陥没し、形成された大きな「くぼ地」のことを何と呼ぶか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. カルデラ 2. シラス台地 3. 盆地 4. 扇状地

問2 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 化学工業 2. 金属工業 3. 食料品工業 4. せんい工業

問3 日本の農業統計において、肉用牛の生産額シェアが全国の41%を超え、他の地方に比べて突出して高い割合を占めている地方はどこですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 九州地方 2. 東北地方 3. 北陸地方 4. 近畿地方

問4 宮崎県の農業統計において、ピーマンの月別入荷量が多い冬から春にかけて、市場全体の1キログラム当たりの平均価格が高くなっている傾向が見られます。このような農業経営の工夫に関する記述として正しいものを選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 暖かい気候を活かして成長を早める促成栽培により、競争相手が少ない時期に出荷している。 2. 冷涼な気候を活かして成長を遅らせる抑制栽培により、夏場の需要に合わせて出荷している。 3. 大都市に近い立地を活かした近郊農業により、輸送コストを抑えて新鮮なうちに販売している。 4. 特定の作物のみを大量に生産する工芸作物の栽培により、生産コストを大幅に削減している。

問5 鹿児島県の農業産出額は約4435億円と非常に高く、そのうちの約2837億円が畜産によって生み出されています。このように畜産の割合が極めて高い背景にある、この地域の自然環境の説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 2. 年間を通して温暖で降水量が多く、二期作などの米づくりに適していたため。 3. 季節風の影響を強く受けるため、寒冷な気候に強い作物の栽培が優先されたため。 4. 平野が少なく山がちであるため、急斜面を利用した果樹栽培が中心となったため

問6 九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。（2020年 広島公立入試 類似）

1. シラス台地 2. カルデラ 3. 扇状地 4. 三角州

問7 中国・四国地方と九州地方の産業統計を比較したとき、それぞれの地方の特色について正しく説明しているものはどれですか。なお、統計において中国・四国地方の工業出荷額は約36.7兆円、九州地方は約25.7兆円となっています。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 九州地方は中国・四国地方に比べて人口が多く、農業生産額も大きいですが、工業出荷額は中国・四国地方の方が大きい。 2. 中国・四国地方は九州地方に比べて人口が多く、農業生産額も工業出荷額も九州地方を上回っている。 3. 九州地方は中国・四国地方に比べて農業生産額は小さいが、工業出荷額と人口において中国・四国地方を大きく上回っている。 4. 中国・四国地方と九州地方を比較すると、人口、農業生産額、工業出荷額のすべての項目において九州地方が中国・四国地方を上回っている。

問8 鹿児島県の南、大隅諸島に属する南北に細長い形状をした島に関する説明として、歴史的な出来事と現代の状況を正しく組み合わせたものはどれですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着して鉄砲が伝来し、現在は国内最大級のロケット発射場である宇宙センターが設置されている。 2. 16世紀にキリスト教が初めて伝わった地であり、現在は世界自然遺産に登録された屋久杉の原生林を保護する活動が盛んに行われている。 3. 古くから朝鮮半島との貿易の中継地として栄え、現在は大陸からの渡り鳥を観測するための大規模な自然保護区となっている。 4. 琉球王国の支配下で独自の文化を育み、現在はサトウキビ栽培とマングローブ林を活用したエコツーリズムの拠点となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 カルデラ	火山の噴火によってマグマが放出され、空洞になった地下に地表が落ち込むことで形成される大きくぼ地をカルデラと呼びます。阿蘇山はこのカルデラの中に人々が生活する集落や鉄道があるほど巨大な規模を持っており、鹿児島湾も北部の「始良カルデラ」などに海水が入り込んで形成されたものです。シラス台地は火山灰が堆積してできた平坦地であり、形成の仕組みが異なります。
問2	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問3	答え 1 九州地方	九州地方は温暖な気候と広大な土地を活かした畜産業が盛んです。特に鹿児島県や宮崎県などの南九州では、肉用牛のほか、豚や鶏（ブロイラー）の飼育頭数・生産額でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問4	答え 1 暖かい気候を活かして成長を早める促成栽培により、競争相手が少ない時期に出荷している。	宮崎平野などで見られるピーマンの生産は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した促成栽培の典型例です。市場における価格の変動（入荷量が少ないと価格が上がる）という仕組みを利用し、ビニールハウス等で時期を早めて生産することで、経済的な優位性を確保しています。これに対し、夏でも涼しい高冷地などで時期を遅らせる栽培方法は抑制栽培と呼ばれ、長野県のレタスなどが有名です。
問5	答え 1 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県（特に大隅半島や薩摩半島）には、桜島などの火山活動による堆積物でできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水が染み込みやすく、大規模な水田を作るのが難しかったことから、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして広大な土地を活かした肉用牛や豚の飼育といった畜産業が盛んになりました。この歴史的な土地利用の背景が、現代の高い畜産産出額につながっています。
問6	答え 1 シラス台地	九州南部には、火山の噴出物が堆積してできた広大な台地が広がっています。この地形は水分を保持しにくく水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。その一方で、現代ではその広大な面積を活かした大規模な畑作や畜産業の基盤となっています。
問7	答え 1 九州地方は中国・四国地方に比べて人口が多く、農業生産額も大きいですが、工業出荷額は中国・四国地方の方が大きい。	九州地方は人口が約1431万人、農業生産額が約1.9兆円であり、人口約1108万人、農業生産額約0.9兆円の中国・四国地方を上回っています。一方で、工業出荷額に関しては、瀬戸内工業地域などの大規模な重化学工業が発達している中国・四国地方が約36.7兆円となっており、九州地方の約25.7兆円を上回る規模を持っています。地方ごとの産業構造の違いを、人口規模や生産額の具体的な数値から判断することが重要です。
問8	答え 1 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着して鉄砲が伝来し、現在は国内最大級のロケット発射場である宇宙センターが設置されている。	種子島は、歴史的には戦国時代の1543年に鉄砲が伝来した場所として有名であり、当時の日本における戦術や社会構造に大きな変化を与えました。現代では、赤道に近く地球の自転を利用しやすいことや、島の東側が広い海に面しており安全が確保しやすいといった地理的条件から、日本を代表するロケット発射施設である宇宙センターが建設され、宇宙開発の拠点となっています。